

6. 教育

6-1. 学生状況

1. 入学者数及び出身地

入学年度	入学者数	出身地		出身校	
		県内	県外	県内	県外
2024年度	80	76	4	70	10
2025年度	79	77	2	73	6
2026年度	119	117	2	113	6

2. 在学者数

2026.5.1 現在

1年生	年初在籍			退学				途中休学		
	学生総数	男子	女子	退学数	退学率	男子	女子	休学数	男子	女子
	119	20	99	0	0.0%	0	0	0	0	0
2年生	年初在籍			退学				途中休学		
	学生総数	男子	女子	退学数	退学率	男子	女子	休学数	男子	女子
	76	6	70	0	0.0%	0	0	0	0	0
合計	年初在籍			退学				途中休学		
	学生総数	男子	女子	退学数	退学率	男子	女子	休学数	男子	女子
	195	26	169	0	0.0%	0	0	0	0	0

6-2. カリキュラム

令和8年4月以降入学者

教育課程および授業時間数

衛生専門課程 美容科

1時限 = 50分

美容科 (昼)					
授業課目	必修・選択の別	1年次	2年次	授業時間数 合計	単位数 合計
		時間数	時間数		
関係法規・制度	必修	30	0	30	1
衛生管理	必修	60	30	90	3
保健	必修	60	30	90	3
香粧品化学	必修	30	30	60	2
文化論	必修	30	30	60	2
美容技術理論	必修	60	90	150	5
運営管理	必修	30	0	30	1
美容実習	必修	300	600	900	30
専攻 (ヘアスタイリスト/ヘアメイク)	選択 (専門)	60	30	90	3
サロンワーク	選択 (専門)	60	60	120	4
シャンプー	選択 (専門)	60	30	90	3
メイクアップ	選択 (専門)	60	0	60	2
トータルビューティ	選択 (専門)	90	30	120	4
ホスピタリティ	選択 (一般)	60	0	60	2
ITデザイン	選択 (一般)	30	30	60	2
必修課目 授業時間数		600	810	1410	47
選択課目 授業時間数		420	180	600	20
卒業に必要な総授業時間数		1020	990	2010	67

6-3. 進級・卒業の要件（成績評価方法含む）

進級・卒業の要件

規定するすべての課目を履修した学生を卒業とする。また進級については1年次すべての課目を履修すること。当校の定める成績と厚生労働省の定める美容師養成施設の卒業要件を満たしていると判断できるものに卒業の認定を授与する。また、年2回の定期試験を実施するとともに進級時、卒業時に校長、副校長、教務主任などによる判定会議において決定する。

成績評価方法

- ・各学年の学期毎（前期・後期）に行います。
- ・①出席率、②定期試験や小テスト、③平常点（提出物・作品等の制作物・授業参加意欲など）などに基づいて総合的に行います。
- ・5段階評価（S評価～D評価）により行います。

成績評価基準

成績	出席率	定期試験・小テスト	平常点
S 評価	100%	特に優れている	特に優れている
A 評価	95%以上	優れている 以上	優れている 以上
B 評価	90%以上	普通 以上	普通 以上
C 評価	67%以上	やや劣る 以上	やや劣る 以上
D 評価	C 評価の基準を満たしていない場合		

※定期試験・小テストの点数基準は教科課目のシラバスで表記する。

※定期試験を実施しない科目については、出席率と平常点にて評価する。

成績評価ポイント換算表

S 評価	A 評価	B 評価	C 評価	D 評価
5	4	3	2	1

単位時間数ポイント換算表（学期毎）

～30 時間	31～60 時間	61～90 時間	91～120 時間	121～150 時間	151～180 時間
1	2	3	4	5	6

181～210 時間	211～240 時間	241～270 時間	271～300 時間	301～330 時間	331～360 時間
7	8	9	10	11	12

GPA 評価 計算式

成績評価ポイント × 単位時間数ポイント = 課目評価係数

全課目合計 評価係数 ÷ 全科目合計 単位時間数ポイント = 成績評価係数 (評定平均)

計算例

課目	評価	成績評価 P (a)	単位時間数 P(b)	(a)×(b)
関係法規・制度	A 評価	4	1	4
美容技術理論	C 評価	2	2	4
衛生管理	B 評価	3	1	3
美容実習	A 評価	4	3	12
運営管理	C 評価	2	1	2
			8	25

全科目合計 評価係数 25 ÷ 全科目合計 単位時間数 8 = 成績評価係数 3.13

※小数点第 3 位を四捨五入する。

令和 7 年度 成績の分布

令和7年度 (後期) 成績の分布						
学科名	美容師科		学年	1年	学生数	77
成績の分布						
GPA	～2.5	2.51～3.0	3.01～3.5	3.51～4.0	4.01～4.5	4.51～5.0
人数	1	5	7	18	27	20
下位1/4に該当する人数				20人		
下位1/4に該当するGPA				3.75		
平均値				4.10		

6-4. 美容師国家試験結果

	対象者	受験者	合格者	合格率
2023年度	72	72	70	97.2%
2024年度	68	68	66	91.2%
2025年度	74	74	66	89.1%

6-5. 卒業後の進路

1. 卒業後の進路状況

卒業年度	卒業生数	就職状況							進学等		
		就職希望	内定数	卒業生 就職率	分野		勤務地		進学	留学	その他
					関連分野	分野外	県内	県外			
2023年度	72	72	72	100.0%	72	0	49	23	0	0	0
2024年度	68	68	66	97.1%	66	0	34	32	0	0	0
2025年度	74	74	74	100.0%	71	3	42	32	0	0	0

2. 分野別内訳

		2023年度	構成比	2024年度	構成比	2025年度	構成比
関連分野	美容師	51	70.8%	54	81.8%	57	77.0%
	アイスタイリスト	12	16.7%	8	12.1%	11	15.0%
	ブライダル・ヘアメイク等	9	12.5%	4	6.1%	3	4.0%
	分野外	0	0.0%	0	0.0%	3	4.0%
合計		72	100.0%	66	100.0%	74	100.0%

3. 主な就職先（2025年度実績 順不同）

celilo	TELA HAIR	LIPPS
VISAGE	hair do	Wiz
aL-ter	EYELA	Heilee brow
SOCIE	TRUTH	GRAFT
Kakimoto arms	TAYA	AFLOAT

6-6. 教育課程編成委員会

教育課程編成委員会

氏名	所属	任期	種別
永井 信之	一般社団法人 日本美容師連盟 理事	2025年4月1日～ 2027年3月31日(2年)	①
鈴木 淳也	株式会社ブレイス代表取締役 (日本美容師連盟会長)	2025年4月1日～ 2027年3月31日(2年)	③
西村 広	株式会社トーコン 美容・医療領域新卒事業担当プロデューサー	2025年4月1日～ 2027年3月31日(2年)	③
	株式会社 Y Style	2025年4月1日～ 2027年3月31日(2年)	③
田村 英介	ジェイ ヘアメイク美容専門学校 校長	2025年4月1日～ 2027年3月31日(2年)	-
金子 剛	ジェイ ヘアメイク美容専門学校 副校長	2025年4月1日～ 2027年3月31日(2年)	-
水野 雅城	ジェイ ヘアメイク美容専門学校 教務就職室長	2025年4月1日～ 2027年3月31日(2年)	-

委員種別

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体・職能団体・地方公共団体の役職員
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

2025 年度 第 1 回 教育課程編成委員会

日時	2025 年 9 月 30 日 (火) 13:00~14:30	場 所	ジェイヘアメイク美容専門学校 6F	進 行	水野
				議 事	金子

出席者	<p><外部委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・永井 信之 一般社団法人日本美容師連盟理事 種別：① ・鈴木 淳也 株式会社ブレイス代表取締役 種別：③ ・西村 広 株式会社トーコン美容医療領域新卒事業担当プロデューサー 種別：② ・望月 典子 株式会社 Y Style 総務部長 種別：③ (敬称略/順不動) <p><学校職員>・田村 英介 (校長)・金子 剛 (副校長)・水野 雅城 (教務就職室室長)</p>
-----	---

議 題	<p>1.学生状況および募集状況</p> <p>2.教育について</p> <p>3.就職関連と指導</p> <p>4.その他</p>
-----	--

議 事 録	<p>○定刻、進行役が開会を宣し上記の通り定足数に足る委員の出席があったので、本委員会は適法に成立した旨を述べ、直ちに議案の審議に入った。</p> <p>○委員長挨拶 本年度から新期となり、新しい委員を迎えて開催する運びとなった。委員就任および運営への協力に感謝を伝え、引続き教育の充実と人材育成に尽力していくことを報告した。</p> <p>1. 2025 年度運営報告</p> <p>■学生状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025 年度年初在籍 154 名について、学生動向や中退率などについて報告。 <p>■募集状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2026 年度生の募集状況について、新入生数等を報告。 <p>委員：全国の美容師免許取得者は横ばいの中、県内の美容学校進学者数も増加傾向にあるようだ。</p> <p>2. 教育について</p> <p>■授業改善アンケートについて、前期の結果を報告。</p> <p>学校：授業内容については学生から一定以上の評価を得られている。</p> <p>■専攻内訳・1年生の専攻について、前年比と共に人数を報告。</p> <p>委員：ヘアスタイリスト専攻を選択する学生が減少したようだが、何か要因があるのか。</p> <p>学校：今期は男子学生が減少し、女子学生が増加した分、ヘアメイク専攻に増員が見られる。</p> <p>学校：ヘアメイク専攻のうち、特にまつ毛エクステンションを志望する在校生が増えている。</p> <p>3. 就職関連と指導</p> <p>■内定状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業、県外企業についての内訳と、業界内での職種別の内訳について報告。 <p>学校：都内サロンへの内定者が増加傾向で、3年連続で3割超え、2年連続で4割を超えている。</p> <p>委員：内定者以上に都内志望者はいるということか。</p> <p>学校：都内サロンを受験後、結果を経て県内で内定に至るケースも少なくない。</p> <p>委員：地方含め都市部ではプライダル需要が高いが、受け入れ企業が少ないため就職活動は苦戦している。</p> <p>4. 教育課程について</p> <p>■就職指導および教育課程考察</p> <p>学校：アイスタイリストの育成カリキュラムは一般的にどの程度の期間を要するか。</p> <p>委員：育成型サロンでは研修所で集中トレーニングを実施し、3か月程度で技術者になる。一方、小規模サロンでオーナーと直接やり取りできる企業を希望する学生も多いように感じている。ゆっくり進めても1年程度で技術者になる。</p> <p>委員：業務委託系サロン、フリーランスの市場が伸びているようだ。アイスタイリストのフリーランスも増えている。</p> <p>委員：正社員、業務委託、フリーランス、独立開業等、多様化する勤務形態について、就職活動前の指導は可能か。</p> <p>学校：実施時期、講師、内容について早急に検討したい。</p> <p>委員：ヘアだけでなく、アイブロウもメンズ対象のマーケットが急速に伸びている為、就職先として前向きに検討する学生が増えることを期待する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回は2026年3月26日(木)を予定とする。
-------	---

以上

2025 年度 第 2 回 教育課程編成委員会

日時	2026 年 3 月 26 日 (木) 15:00~16:00	場 所	ジェイヘアメイク美容専門学校 6F	進 行	水野
				議 事	金子
出席者	<p><外部委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・永井 信之 一般社団法人日本美容師連盟理事 種別：① ・鈴木 淳也 株式会社ブレイス代表取締役 種別：③ ・西村 広 株式会社トーコン美容医療領域新卒事業担当プロデューサー 種別：② ・望月 典子 株式会社 Y Style 総務部長 種別：③ (敬称略/順不動) <p>* ご出席：足立洋子 (同社代表取締役)</p>				
	<p><学校職員> ・田村 英介 (校長) ・金子 剛 (副校長) ・水野 雅城 (教務就職室室長)</p> <p><オブザーブ参加> ・関谷 葵 (教務就職室リーダー)</p>				
議 題	<p>1. 学生状況および募集状況</p> <p>2. 教育について</p> <p>3. 就職関連と指導</p> <p>4. その他</p>				
議 事 録	<p>○ 定刻、進行役が開会を宣し上記の通り定足数に足る委員の出席があったので、本委員会は適法に成立した旨を述べ、直ちに議案の審議に入った。</p> <p>□ 委員長 (校長) 挨拶 本委員会も最終回を迎えた。開催方法等にも協力いただき、ここまで運営することができたことへの感謝を伝え、引続き教育の充実と人材育成に尽力していくことを報告した。</p> <p>1. 2025 年度運営報告</p> <p>■ 学生状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2025 年度年初在籍 154 名について、学生動向や中退率などについて報告。 <p>■ 募集状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2026 年度生の募集状況について、新入生数等を報告。 <p>委員：千葉県だけでなく埼玉や神奈川も美容学校入学者は増加傾向である一方、都内の学校では減少傾向にあるようだ。</p> <p>2. 教育について</p> <p>■ 授業改善アンケート (年 2 回実施) * 各期末 (9 月・2 月) 実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前期および後期の集計結果について報告。 <p>学校：担任制で運営しているが、担任だけが自クラスを見るのではなく、教務全体で学年全体をサポートしている体制がプラス回答や中退率の低下につながっているようだ。</p> <p>3. 就職関連と指導</p> <p>■ 内定状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業、県外企業についての内訳と、業種別についての内訳を報告。 <p>委員：メンズサロンへの内定は増えているか。</p> <p>学校：希望者も内定者も一定数いるが、男子学生の割合に比例する傾向にあり今期は微増だった。</p> <p>委員：単価や回転率を踏まえると今後メンズサロン需要はさらに増えるだろう。就職希望者も増えてほしい。</p> <p>4. その他</p> <p>■ 離職状況について</p> <p>学校：アイサロンでの離職率はどうか。</p> <p>委員：離職というよりも独立が増えているようだ。</p> <p>委員：県内美容サロンは離職率微減で、近年は 1 ON1 面談、休憩時間の確保、営業時間内で練習時間の確保など離職防止に努めるサロンが増えている。</p> <p>学校：休憩時間の確保や業務時間の調整は退職者の減少には繋がるだろうが、売上に影響はあるか。</p> <p>委員：売上の減少は否めないが、まずは数少ない新入社員を辞めさせないことが重要と考えている。</p> <p>■ 授業内容について</p> <p>委員：嫌なことやストレスにどう向き合うかを在学中に考える機会を設けることで離職防止に繋がるのではないか。</p> <p>学校：学校では理不尽を感じさせないように運営しておりストレス耐性は減少傾向にある。授業に取り入れられるか検討していきたい。</p> <p>委員：SNS の活用方法についてセミナー開催している学校は多いが、諸々の危険性についても学習する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回は 2027 年 3 月 17 日を予定とする。 <p style="text-align: right;">以上</p>				

6-7. 学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員（2026年度）

氏名	所属	任期	種別
永井 信之	一般社団法人 日本美容師連盟 理事	2025年4月1日～ 2027年3月31日(2年)	業界団体
鈴木 淳也	株式会社ブレイス代表取締役（日本美容師連盟会長）	2025年4月1日～ 2027年3月31日(2年)	企業等委員
西村 広	株式会社トーコン 美容・医療領域新卒事業担当プロデューサー	2025年4月1日～ 2027年3月31日(2年)	企業等委員
	株式会社 Y Style	2025年4月1日～ 2027年3月31日(2年)	企業等委員
中西 恵	千葉経済大学附属高等学校	2025年4月1日～ 2027年3月31日(2年)	高校関係

6-8. 教職員研修

1. 研修方針

業界の動向や、現在のニーズに合った専門知識と技術の向上を図り、学校教育や指導に活かしていく。

研修実績（2025年度）

期間	研修名	内容	対象	区分
8/4~8/8	美容師養成施設 教員資格認定	・文化論 日本の理容業、美容業の歴史 ファッション文化史 日本編 ファッション文化史 西洋編 ■公益社団法人 日本理容美容教育センター	美容師科教員	専門実務
9/23~10/3	美容師養成施設 教員資格認定	・保健 理容師法/美容師法 消化器系/呼吸器系/骨格器系/感覚器系 皮膚の構造・人体の構造および機能 ■公益社団法人 日本理容美容教育センター	美容師科教員	専門実務
7/29・2/9	JBCA 認定教員 研修会	■NPO 法人 日本ビューティ・コーディネーター協会	美容師科教員	専門実務

6-9. 教職員・講師

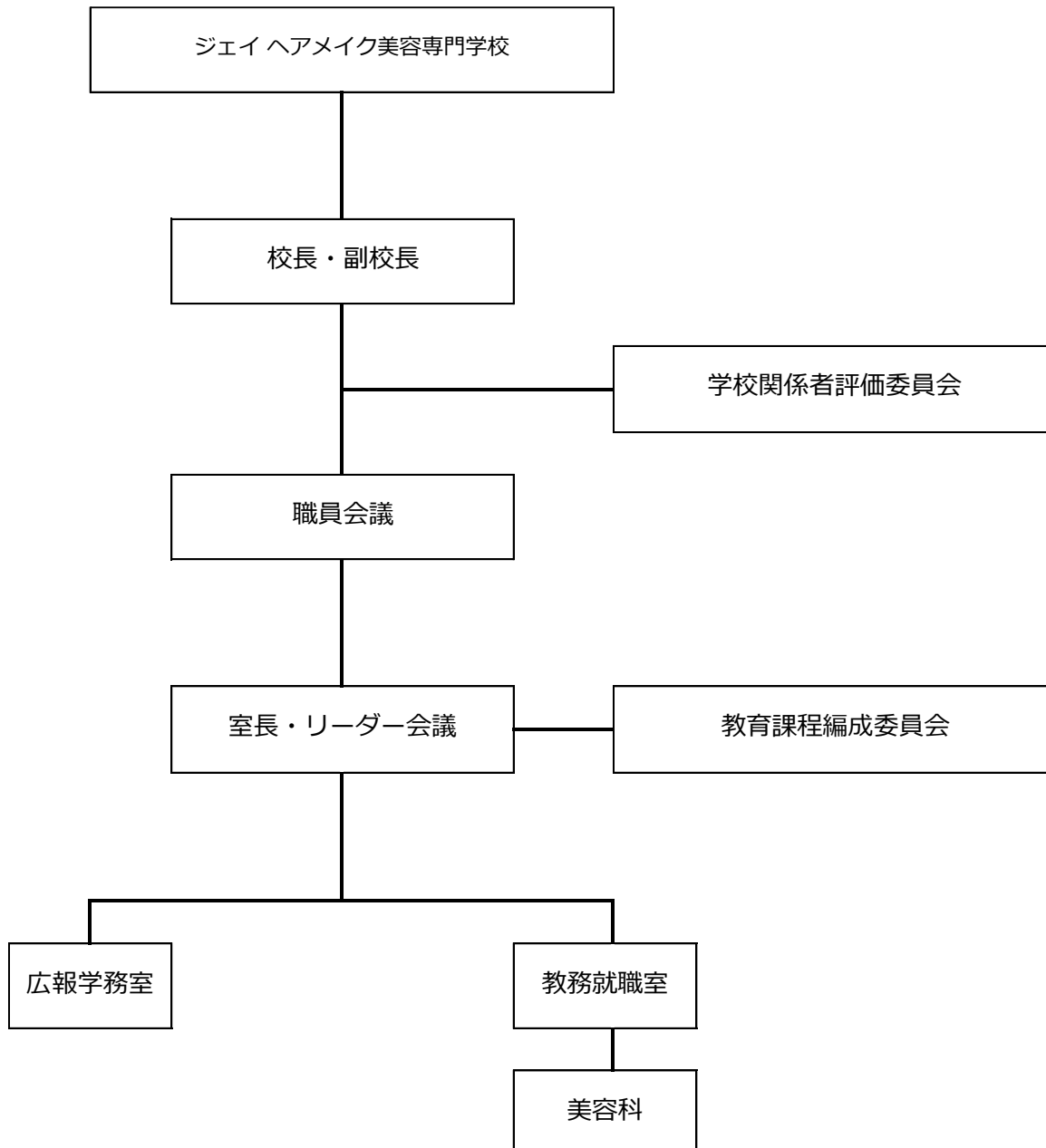
○教職員数

2026年度

男女別		専任	兼任	専任・兼任計
教員	女	7	7	14
	男	4	1	5
	計	11	8	19
職員	女	2	0	2
	男	2	0	2
	計	4	0	4
合計		15	8	23

専任教職員職名別	人数
校長	1
副校長	1
室長	2
一般職	11
合計	15

○教職員の組織



○授業担当科目一覧

氏名	専任	兼任	担当課目	専門資格・実務経験・所属等
田村 英介	○		関係法規・制度	大学法学部卒
水野 雅城	○		美容技術理論/美容実習/保健/衛生管理 化粧品科学/ヘアスタイリスト専攻/ ヘアメイク専攻/サロンワーク メイクアップ/トータルビューティ カウンセリング/ホスピタリティ/シャン プー/ITデザイン	美容師免許 日本理容美容教育センター美容技術理論実習研修修了 日本理容美容教育センター保健研修修了 日本理容美容教育センター化粧品科学研修修了 日本理容美容教育センター衛生管理実習研修修了
関谷 葵	○		関係法規/美容技術理論/美容実習/衛生 管理/文化論/ヘアスタイリスト専攻/ ヘアメイク専攻/サロンワーク/メイクアッ プ/トータルビューティ/カウンセリング /ホスピタリティ/シャンプー/ITデザイ ン	美容師免許 日本理容美容教育センター衛生管理実習研修修了 日本理容美容教育センター美容技術理論実習研修修了 日本理容美容教育センター文化論研修修了 JBCA認定教員
木全 雄一	○		美容技術理論/運営管理/美容実習/化粧品 科学/ヘアスタイリスト専攻/ヘアメイ ク専攻/サロンワーク/メイクアップ/ トータルビューティ/カウンセリング/ホ スピタリティ/シャンプー	美容師免許 日本理容美容教育センター美容技術理論実習研修修了 日本理容美容教育センター運営管理研修修了 日本理容美容教育センター化粧品科学研修修了 日本理容美容教育センター保健研修修了
伊藤 玲茄	○		美容技術理論/美容実習/保健/化粧品科 学/文化論/ヘアスタイリスト専攻/ ヘアメイク専攻/サロンワーク メイクアップ/トータルビューティ カウンセリング/ホスピタリティ/シャン プー	美容師免許 日本理容美容教育センター美容技術理論実習研修修了 日本理容美容教育センター保健研修修了 日本理容美容教育センター化粧品科学研修修了 日本理容美容教育センター文化論研修修了 JBCA認定教員
古川 ゆりあ	○		美容技術理論/美容実習/ヘアスタイリス ト専攻/ヘアメイク専攻/サロンワーク/ メイクアップ/トータルビューティ/カウ ンセリング/シャンプー	美容師免許 日本理容美容教育センター美容技術理論実習研修修了 日本理容美容教育センター文化論研修修了 JBCA認定教員
志関 佑華	○		美容技術理論/美容実習/ヘアスタイリス ト専攻/ヘアメイク専攻/サロンワーク/ シャンプー/メイクアップ/トータル ビューティ/ホスピタリティ/シャンプー	美容師免許
芳賀 裕二	○		美容技術理論/美容実習/ヘアスタイリス ト専攻/ヘアメイク専攻/サロンワーク/ シャンプー/メイクアップ/トータル ビューティ/ホスピタリティ/シャンプー	美容師免許
三輪 洋子	○		文化論/美容技術理論/美容実習 ヘアスタイリスト専攻/ヘアメイク専攻 サロンワーク/メイクアップ/トータル ビューティ/カウンセリング/ホスピタ リティ	美容師免許 美容師の実務経験10年 日本理容美容教育センター文化論研修修了
岩井 亜実	○			美容師免許
佐藤 みのり	○			美容師免許
安齋 孝子		○	トータルビューティ	JAA認定アロマインストラクター/TCカラー認定ゴールドトレーナー
足立 洋子		○	ヘアメイク専攻	美容師免許
露木 里枝		○	ヘアメイク専攻	美容師免許
原口 和也		○	ヘアメイク専攻/メイクアップ	コスメティックアクターアカデミー協会 ゴールド
高橋 之子		○	美容実習(着付け講習)	美容師免許
永田 浩美		○	保健	薬剤師
橋本 紫織		○	化粧品化学	大学院理学研究科卒 中学理科教員免許
相川 風子		○	ITデザイン	ITパスポート